

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~					
	施策	30 公園・緑地 - 公園を増やし、緑地の保全に努めます -					
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	都市政策部 公園緑地課	評価責任者				櫻井 進一	
		評価日				令和2年5月22日	
関連課	都市計画課						
目標	市民が親しみを持って快適に利用できる公園の配置・整備を計画的に進めるとともに、公園等愛護会をはじめとした市民団体やボランティアと市の協働体制を強化し、公園・緑地の適正な維持管理を行います。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 公園・緑地の整備</p> <p>○「ふじみ野市緑の基本計画」に基づき、地域バランスに配慮した公園の整備と市街地の緑化を推進し、緑のネットワーク化を図ります。</p> <p>○公園に設置されている遊具などの安全点検を実施し、計画的に改修を行います。</p> <p>(2) 公園・緑地の維持管理</p> <p>○地域住民による公園の管理を進めるために、公園利用を促進するルールづくりや公園等愛護会をはじめとした市民団体・ボランティアの維持管理活動の周知などを通して、担い手の育成を行います。</p>						

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	1人当たりの公園等面積					
		説明	公園面積は開発に伴う公園・緑地の採納で微増であり、市の人口が年々増加しているため実績としてはほぼ横ばいです。					
		単位	m ² /人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3.60	3.90	4.20	4.50	5.00	5.00
		実績値	3.10	3.40				
	指標 2	指標名	公園のリニューアル箇所数					
		説明	福岡中央公園と官舎公園の更新を行い、地域に合わせた整備を行いました。					
		単位	箇所					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	6	8	10	12	14
		実績値	6	8				
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 4	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	931,564	782,459	304,562			
	人件費	39,672	39,093	55,049			
収入	特定財源	716,507	507,201	20,107			
	一般財源	254,729	314,351	339,504			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	公園・緑地の整備	運動公園、第2運動公園の整備を行い、市民の健康増進への意欲を高められるよう魅力ある施設整備を進める。	第2運動公園が10月にオープンし、利用者から好評を得ています。運動公園拡張部も令和2年度完了を予定しており、整備が完了することにより、1人当りの公園等面積の増が見込まれます。	公園管理事業 公園新設事業
取組	公園・緑地の整備	公園遊具の更新について、職員や事業者で安全点検を実施し、適正な公園の配置・整備を進めます。	安全点検結果により、遊具間の安全を確保し、撤去・新設を行い、市民が安心して利用できるよう整備を行いました。福岡中央公園、官舎公園の整備を実施し、地域の意見を反映した公園更新整備を行いました。	公園管理事業 公園新設事業
取組	公園・緑地の維持管理	公園・緑地の清掃や花壇等の手入れ等を行うことを目的とした愛護会等の団体の確保に努め、地域の活性化、緑化推進を進めるのと同時に、人材育成を行います。	愛護会活動の一つとして、花苗の提供を行い、地域の小・中学生、市民と一緒に緑化活動を実施しました。また、活動内容の周知や人材確保の手法について、意見交換を行い、実施に向けて検討しています。	公園管理事業 緑化推進事業
取組				
取組				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	拡張部公園整備については、令和2年度に遊具を設置して完了予定となっております。旧福岡高等学校跡地の第2運動公園は令和元年10月にオープンしました。
おおむね順調	公園更新計画は、今年度、西中央公園を予定しておりますが、その他の公園についても遊具等の老朽化が進み、更新時期を迎えていることなどから改修計画を基に維持管理コスト等を考慮した長寿命化の方策が必要となっております。
行政資源の活用	公園・緑地の維持管理を行うにあたり、業務委託の実施とは別に、公園・緑地の清掃等を目的とした愛護会等の活動を補助するために、活動の周知、人材の確保を募るため、方策の構築について検討しているところです。
取組の有効性	1人当りの公園等面積は、開発に伴う公園・緑地の採納により微増ではありますが、第2運動公園が令和元年度末、運動公園拡張部が令和2年度末に整備が終了することにより、面積増が見込まれることとなります。
おおむね有効	生産緑地につきましては、法改正による面積要件緩和の条例を制定することにより、更なる生産緑地の確保に努めます。また、生産緑地所有者を対象とした特定生産緑地制度の周知を図り、個別相談や意向調査を実施し、指定の手続きを進めているところです。
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	公園管理事業			前年度の方向性
				継続
重点プロジェクト	美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~		
	施策	30 公園・緑地 - 公園を増やし、緑地の保全に努めます -		
予算費目	一般会計 08土木費 04都市計画費 04公園費			
所管部課	都市政策部 公園緑地課	評価責任者	北澤 豊	
事務事業期間	昭和31年~	評価日	令和2年6月26日	
個別計画 根拠法令・条例等	都市公園法、ふじみ野市都市公園条例、ふじみ野市緑の基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民だれもが安心して、安全にくつろげる憩いの場である公園を良好な状態に保つべき、維持管理を推進する。		
	事務事業の経緯	市内136箇所の公園の維持管理を実施している。		
	事務事業の概要	市内の公園の維持管理（136箇所） 都市公園法等に基づく許認可 愛護会による地域の公園管理の支援 維持管理のため業務委託の実施 公園整備工事・更新工事の実施		
	令和元年度の主な取組	市内公園136箇所の維持管理を実施した。 福岡中央公園の更新工事を行った。 また、ふじみ野市運動公園拡張部において公園整備工事を行った（令和2年度に遊具を設置して完了予定）。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.50	2.50	4.50
		人件費	20,240	19,945	35,901
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	20,240	19,945	35,901	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	28,599	26,143	27,561	
	委託料	106,150	110,051	117,993	
	使用料及び賃借料	7,800	4,647	6,204	
	工事請負費	360,935	118,624	90,300	
	負担金、補助及び交付金	476	134	71	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	152,567	3,432	3,949	
	支出合計	676,767	282,976	281,979	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	20,000	15,600	10,000
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	503	620	509
		分担金・負担金	311	312	300
		地方債	285,500	14,000	9,000
		基金	189,021	73,701	0
		その他	16,050	100	50
	一般財源	165,382	178,643	262,120	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	1,448	1,562	2,255	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市内公園の維持管理面積		
	説明	市が管理する都市公園の面積		
活動	単位	㎡		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	209,687	248,713	248,847
	実績値	209,029	248,847	
指標 2	指標名	公園のリニューアル箇所数		
	説明	令和5年度までにリニューアルする公園の数		
活動	単位	箇所		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	4	6	8
	実績値	6	8	
指標 3	指標名	1人当たりの公園等面積		
	説明	市民1人当たりの公園等の面積 公園等・・・公園+緑地（緑地管理事業と同一指標）		
活動	単位	㎡		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	3.60	3.90	4.20
	実績値	3.10	3.40	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>安全基準を遵守し、点検・修繕・樹木剪定などの維持管理を適切に行い、良好な公園環境の整備に努めた。また、公園等には老朽化した樹木があるため、診断等を行い、倒木、枝折れなどの恐れのある樹木に対し、早期手入れを実施し、事故の未然防止対策を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具撤去数 7基（令和元年度実績） ・遊具設置数 4基（令和元年度実績） ・更新工事件数 <ul style="list-style-type: none"> 富士見台公園更新工事（平成30年度完了） 大井・苗間区画整理記念公園更新工事（平成30年度完了） 福岡中央公園更新整備工事（令和元年度完了） ・公園利用申請件数 147件（令和元年度実績） <ul style="list-style-type: none"> 市主催、共催行事（七夕祭り、大井祭り等） 24件 自治組織等（地区祭り、防災訓練等） 35件 一般利用（イベント、フリーマーケット等） 88件 ・公園愛護会数 36団体（令和元年度末現在） <ul style="list-style-type: none"> 公園等愛護会連絡調整会議開催 0回（コロナウィルスの影響により中止：例年3月に実施） 緑地愛護会と一体の調整会議 ・ふじみ野市運動公園再整備（令和2年度完了予定） <ul style="list-style-type: none"> 3x3バスケットコート及びフットサルコート工事（平成30年度完了） 拡張部調整池整備工事（平成30年度完了） 拡張部公園整備工事（令和元年度完了） <p>課題としては、限られた財源の中で更新整備を実施する必要があるため、どの公園のどの部分を更新していくかという検討を行う必要がある。また、公園の面積を増やす方策を検討する必要がある。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市全体として公園施設が老朽化しており、更新整備や大規模修繕が必要な状況にあるため、本事業の継続が必要である。 市民にとって安全安心な公園を提供するため、本事業を継続し、公園のリニューアル箇所数及び公園面積の増加を目指していく。
中長期的方向性	限られた財源の中で、計画的かつ効率的に公園の維持管理及び更新整備工事を実施する。
継続	令和2年度については、緑地管理事業と統合し「公園緑地管理事業」となるため従事人数が増えている。 また、公園新設事業が令和元年度で完了し、そこに割り振られた人数も他事業に割り振っていること、道路課より営繕担当の職員が2名異動してきたことから従事人数が増えている。

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	有料公園施設等管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~		
	施策	30 公園・緑地 - 公園を増やし、緑地の保全に努めます -		
予算費目	一般会計 08土木費 04都市計画費 04公園費			
所管部課	都市政策部 公園緑地課	評価責任者	北澤 豊	
事務事業期間	平成24年~	評価日	令和2年6月26日	
個別計画 根拠法令・条例等	都市公園法、ふじみ野市都市公園条例、ふじみ野市荒川第2運動公園条例、ふじみ野市びん沼サッカー場条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。また、指定管理者制度の導入により施設の利用率向上を図る。		
	事務事業の経緯	平成24年度から指定管理者において管理運営事業を実施する。		
	事務事業の概要	有料運動公園施設（ふじみ野市運動公園、ふじみ野市第2運動公園、荒川運動公園（管理棟含む）、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場）の管理運営を指定管理者が一括して行う。 市は指定管理者に管理運営の業務委託を行う。		
	令和元年度の主な取組	指定管理者と連携し、ふじみ野市運動公園をはじめとする有料公園施設等の管理・運営を実施した。ふじみ野市第2運動公園は令和元年度に多目的球場等の施設が完成し、有料公園施設の全ての施設がオープンしたため、これら施設の管理・運営も既存の指定管理業務に追加をした。 令和2年度から令和6年度までの5年間の指定管理者を選定する業務を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	1.00
		人件費	4,048	3,989	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	4,048	3,989	7,978	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	1,024	29,791	1,200	
	委託料	43,887	52,060	52,074	
	使用料及び賃借料	2,460	2,460	2,461	
	工事請負費	4,369	0	550	
	負担金、補助及び交付金	16	16	322	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	82	3,677	1,128	
	支出合計	55,885	91,993	65,713	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	72	96	96
		分担金・負担金	184	183	152
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	55,629	91,714	65,465	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		487	802	563	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ふじみ野市運動公園野球場利用率		
	説明	年間利用可能コマ数に占める利用コマ数の割合		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	40.00	40.00	40.00
	実績値	43.20	39.80	
指標 2	指標名	ふじみ野市荒川運動公園利用率		
	説明	年間利用可能コマ数に占める利用コマ数の割合 令和元年度は利用率が若干向上したものの目標値には達していない。これは荒川運動公園の利用が土日祝日に集中しており、平日の利用があまりないことから、設定している目標値が高すぎるためと考えられる。翌年度以降、適切な目標設定について検討を行う。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	30.00	30.00	30.00
	実績値	18.60	20.80	
指標 3	指標名	ふじみ野市荒川第2運動公園利用率		
	説明	年間利用可能コマ数に占める利用コマ数の割合 令和元年度は利用率が若干向上したものの目標値には達していない。これは荒川運動公園と同様に荒川第2運動公園の利用も土日祝日に集中しており、平日の利用があまりないことから、設定している目標値が高すぎるためと考えられる。翌年度以降、適切な目標設定について検討を行う。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	30.00	30.00	30.00
	実績値	16.10	19.30	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>指定管理者による管理運営業務により、有料公園施設の利用率向上を図った。結果的には、ほぼ昨年度と同様の利用率となったが、令和元年度に第2運動公園がフルオープンしたことから、更なる利用率向上に努めていく。</p> <p>指定管理者を導入したことにより、細かい運営ができるようになったため、指定管理者と利用者とのコミュニケーションも密になり、苦情・要望等についても迅速に対応できるようになった。</p> <p>また、指定管理者と密に連絡と取り合い、修繕箇所を早期に発見し修繕を実施した。</p>
	<p>(令和元年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率 ふじみ野市運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 野球場 39.8% テニスコート 57.5% フットサルコート 14.7% ふじみ野市第2運動公園 <ul style="list-style-type: none"> アリーナ 64.6% 卓球場 18.4% 剣道場 13.0% 柔道場 29.1% 多目的球場 34.8% 荒川運動公園 20.8% 荒川第2運動公園 19.3% びん沼サッカー場 25.6% <p>・修繕箇所 26箇所（市：3箇所、指定管理者：23箇所）</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>「元気・健康都市宣言」により市民の健康増進への意識が高まっており、市民の運動施設への要求も高くなってきている。このような状況の中、指定管理者制度の導入することによってより細かいサービスの提供を行う必要があるため、本事業の継続が必要である。</p> <p>ふじみ野市第2運動公園がフルオープンしたことから、有料公園施設全体の利用率向上について取り組んでいく。</p>
中長期的方向性	
継続	<p>令和2年度については、公園新設事業が令和元年度で完了し、そこに割り振られた人数も他事業に割り振っていること、道路課より営繕担当の職員が2名異動してきたことから従事人数が増えている。</p>

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	公園新設事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~		
	施策	30 公園・緑地 - 公園を増やし、緑地の保全に努めます -		
予算費目	一般会計 08土木費 04都市計画費 04公園費			
所管部課	都市政策部 公園緑地課	評価責任者	北澤 豊	
事務事業期間	平成27年~令和元年	評価日	令和2年6月26日	
個別計画 根拠法令・条例等	都市公園法、ふじみ野市都市公園条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	旧大井教職員住宅跡地の活用 旧福岡高校の跡地の活用 旧上福岡学校給食センター跡地の活用		
	事務事業の経緯	平成27年度から旧大井教職員住宅跡地の整備、平成28年度から旧福岡高校跡地の整備、平成30年度に旧上福岡学校給食センター跡地の整備を実施。		
	事務事業の概要	旧大井教職員住宅跡地、旧福岡高校跡地及び旧上福岡学校給食センター跡地を公園として整備する。		
	令和元年度の主な取組	平成30年度に引き続き、旧福岡高校跡地の運動公園整備を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.00	0.00
		人件費	9,716	7,978	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	9,716	7,978	0	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	6,588	17,388	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	151,049	359,266	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	0	0	
	支出合計	167,353	384,632	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	149,600	338,700	0
		基金	8,037	5,526	0
		その他	0	20,000	0
	一般財源	9,716	20,406	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		85	178	0	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	旧大井教職員住宅跡地（現・苗間みほの公園）整備における進捗率		
	説明	苗間みほの公園を整備するための事業の進捗率（平成29年度完成）		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100	100	0
	実績値	100	100	
指標 2	指標名	旧福岡高校跡地（現・ふじみ野市第2運動公園）整備における進捗率		
	説明	ふじみ野市第2運動公園を整備するための事業の進捗率（令和元年度完成）		
活動	単位	0		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	80	100	0
	実績値	80	100	
指標 3	指標名	旧上福岡学校給食センター跡地（現・コミュニティ公園）整備における進捗率		
	説明	コミュニティ公園を整備するための事業の進捗率（平成30年度完成）		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100	100	0
	実績値	100	100	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>旧福岡高校跡地（現・ふじみ野市第2運動公園）は、市民の健康増進への意欲の高まりから、運動施設の整備が求められており、令和元年度に全ての工事が完了し、供用開始を行った。令和元年に完成した多目的球場は、野球場又はサッカー場としても利用できることから、特に土曜日、日曜日について高い利用率となっている。</p> <p>コミュニティ公園は市役所庁舎整備に伴い上野台公園が廃止されたため、旧上福岡学校給食センター跡地に代替の公園として平成30年度に整備された。子ども向けの遊具とかけっこができる広場があり、常に多くの子どもたちが利用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市第2運動公園 トイレ等整備工事（平成30年度完了） 多目的球場等整備工事（令和元年度完了・平成30年度～令和元年度の継続事業） ・コミュニティ公園 コミュニティ公園整備工事（平成30年度完了）
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	全ての事業目的を遂行したことから完了とする。
中長期的方向性	
完了	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		緑地管理事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	30 公園・緑地 - 公園を増やし、緑地の保全に努めます -			
予算費目					
所管部課		都市政策部 公園緑地課		評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		昭和60年~		評価日	令和2年6月26日
個別計画 根拠法令・条例等					
都市緑地法、ふじみ野市みどりの条例、ふじみ野市緑の基本計画					
事務事業の内容	事務事業の目的	大井弁天の森をはじめとする緑地の計画的な維持管理及び新たな緑地空間の創出。			
	事務事業の経緯	旧上福岡市及び旧大井町で策定されていた緑の基本計画に基づき、関係法令等により緑地の維持管理を実施してきており、合併後の平成24年度にふじみ野市みどりの基本計画を策定し、将来にわたる緑の保全・管理を実施する。			
	事務事業の概要	現存する豊かな自然を保全しつつ、都市と自然の共生を図り、生活にやさしい緑地空間を創出するため、緑地の保全や緑化を推進する。			
	令和元年度の主な取組	市内にある緑地の維持管理を適正に行った。 大井弁天の森特別緑地保全地区の公有地化を進めた。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.00
		人件費	3,239	3,192	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,239	3,192	0	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	705	697	0	
	委託料	14,589	12,644	0	
	使用料及び賃借料	1,179	1,127	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	31	28	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	48,372	39,625	0	
支出合計		68,114	57,312	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	13,500	12,787	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	24,300	23,000	0
		基金	9,429	2,576	0
		その他	0	0	0
一般財源		20,885	18,949	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		183	166	0	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	緑地管理事業		
	説明	市が管理する緑地の面積		
活動	単位	m ²		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	60,711	60,711	60,711
	実績値	60,711	60,711	
指標 2	指標名	1人当たりの公園等面積		
	説明	市民1人当たりの公園等の面積 公園等・・・公園+緑地(公園管理事業と同一指標)		
活動	単位	m ²		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	3.60	3.90	4.20
	実績値	3.10	3.40	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>緑地の維持管理については、定期的な樹木の剪定、伐採、草刈等を行い、良好な緑地環境の保全に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地愛護会数 6団体 公園等愛護会連絡調整会議開催 0回(コロナウィルスの影響により中止:例年3月に実施) 公園愛護会と一体の調整会議 ・大井弁天の森用地取得 平成27年度から実施しており実績は以下のとおり。 <p>平成27年度 1,678m²(地権者1名) 平成28年度 1,770m²(地権者2名) 平成29年度 1,469m²(地権者3名) 平成30年度 1,746m²(地権者2名) 令和元年度 1,599m²(地権者5名)</p> <p>課題としては、限られた財源の中で緑地の面積を増やす方策を検討する必要がある。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>良好な緑地を確保するためには定期的な維持管理が不可欠であるため、本事業の継続が必要である。大井弁天の森については、令和元年度に取得できなかった土地の取得を引続き継続する。</p> <p>令和2年度より公園管理事業に統合となるため、令和2年度の従事人数は"0人"となっている。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		緑化推進事業		前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ~ 快適で便利なまち ~			
	施策	30 公園・緑地 - 公園を増やし、緑地の保全に努めます -			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 05緑化推進費			
所管部課		都市政策部 公園緑地課		評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		昭和49年～		評価日	令和2年6月26日
個別計画 根拠法令・条例等		生産緑地法、ふじみ野市みどりの条例、ふじみ野市生産緑地地区の区域の規模に関する条例、ふじみ野市緑の基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	市内に残されている緑の保全・保護と開発に伴う緑化の推進及び啓発。 生産緑地地区の管理。			
	事務事業の経緯	旧上福岡市では保存樹木の指定を旧大井町では保存樹木の指定と緑地保護地区の指定を実施してきたが、合併後はふじみ野市みどりの条例により事務事業を実施している。 平成4年に指定された旧上福岡地区の生産緑地地区と平成20年に指定された旧大井地区の生産緑地地区の管理を行っている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市みどりの条例に基づき、市街地の中に残された屋敷林や一団の雑木林、貴重な樹木を計画的に保護・維持するために、緑地保護地区や保存樹木の指定を行い、管理協定を締結することにより、環境と共生するまちづくりを進める。 生産緑地地区について、既存地区の指定の解除及び特定生産緑地地区の指定、生産緑地地区の追加指定に関する業務を行う。			
	令和元年度の主な取組	緑地保護地区に指定された土地や保存樹木に指定された樹木の所有者に対し、管理料を交付し、既存の緑の保全を図った。 旧上福岡地区の生産緑地地権者に対し、特定生産緑地地区の説明会を行った。また「生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例」を制定し、生産緑地地区の追加指定について説明会を行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.50	1.40
		人件費	2,429	3,989	11,170
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,429	3,989	11,170	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	16	11	16	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	462	424	469	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	210	216	264		
支出合計		3,117	4,639	11,919	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,117	4,639	11,919	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		27	41	103	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	緑地保護地区の指定		
	説明	緑地保護地区に指定されている土地の面積		
活動	単位	㎡		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	118,181	116,425	111,429
	実績値	116,425	111,429	
指標 2	指標名	保存樹木の指定		
	説明	保存樹木に指定されている樹木の本数		
活動	単位	本		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	143	142	133
	実績値	142	133	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>緑地保護地区に指定された土地や保存樹木に指定された樹木の所有者に対し、管理料を交付し、既存の緑の保全を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地保護地区管理料交付金 213,722円 ・保存樹木管理料交付金 180,000円 <p>緑化の推進は住民ニーズも高いが、所有者の意向によるところが多い状況にある。緑地保護地区及び保存樹木については、所有者が維持管理を実施しているが、市からの管理料だけでは十分な管理ができていない状況にあるため、管理の方法や管理料といった制度そのものの見直しを検討する必要がある。また、近隣住民からの苦情により樹木が伐採されてしまったり、相続発生時に売却されてしまい、現況の把握が難しく、台帳の再整備も必要である。</p>
	<p>生産緑地地区の管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例」の制定（令和元年12月） ・生産緑地法改正についての説明会（令和元年7月） ・特定生産緑地地区の指定に関する説明会（令和元年11月） ・生産緑地地区の追加指定に関する説明会（令和2年2月）

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>緑の基本計画における市民アンケートでも緑の質や量についての要望は高いことから、今後も本事業の継続は必要である。緑地保護地区及び保存樹木については所有者が維持管理をしており、維持管理も多額の費用がかかっていることから、所有者の負担を減らすためにも現在の制度や管理料を見直し、所有者に適切な維持管理をしてもらう必要がある。また、状況を把握するためにも新たな台帳の整備が必要である。</p>
中長期的方向性	<p>また、生産緑地地区に関する業務については、引続き特定生産緑地地区の指定及び生産緑地地区の追加指定に関する業務を継続していく。</p>
継続	<p>令和2年度については、公園新設事業が令和元年度で完了し、そこに割り振られた人数も他事業に割り振っていること、道路課より営繕担当の職員が2名異動してきたことから従事人数が増えている。</p>